



令和4年4月27日（水）

国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所

記者発表資料

令和4年度大宮国道事務所の事業概要

大宮国道事務所では、上尾道路、本庄道路、新大宮上尾道路等の改築事業、交通安全事業、電線共同溝事業といった、埼玉県内の国道4号、16号、17号の整備及び維持管理を行っています。

主な事業は以下のとおりです。

○国道17号 上尾道路

- ・さいたま市西区宮前町から桶川市川田谷間（Ⅰ期区間）においては、調査設計、用地買収を実施する予定です。
 - ・北本市石戸宿から鴻巣市箕田間（Ⅱ期区間）においては、調査設計、用地買収、改良工、橋梁下部工、橋梁上部工を実施する予定です。
- また、鴻巣市宮前地区ほかにおいて、新たに改良工に着手します。

○国道17号 本庄道路

- ・本庄市沼和田から群馬県高崎市新町間（Ⅰ期区間）の調査設計、用地買収、橋梁下部工、改良工、舗装工を実施する予定です。
- ・本庄市沼和田から深谷市岡間（Ⅱ期区間）において、新たに調査設計に着手します。
- ・新たな神流川橋は引き続き令和4年内の開通を目標に事業を進めて参ります。

○国道17号 新大宮上尾道路（与野～上尾南）

- ・さいたま市中央区円阿弥から上尾市堤崎間の調査設計、用地買収、橋梁下部工を実施する予定です。
- また、上尾市堤崎地区・さいたま市西新井地区において、新たに改良工に着手します。

○交通安全事業

- ・国道4号、国道16号及び国道17号における交差点改良事業等の交通安全対策を推進します。
- ・新たに国道4号の花栗町交差点改良、神明町交差点改良、国道17号の四拾坂下交差点改良に着手します。

○電線共同溝事業

- ・国道4号、国道16号及び国道17号における27箇所において、電線類の地中化を推進します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ さいたま市政記者クラブ
都庁記者クラブ 刀水クラブ・テレビ記者会 高崎記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所

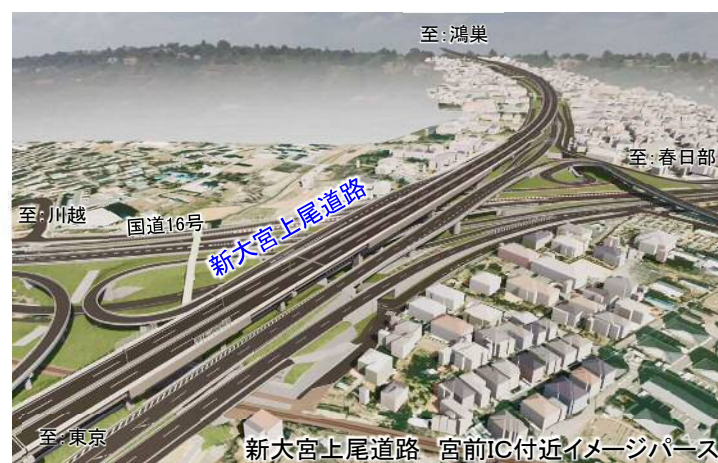
副所長【改築担当】 山田 寧 副所長【管理担当】 木住野 誠 計画課長 福島 薫

TEL : 048-669-1200 （代）



事業概要

2022



Omiya National Highway Office
国土交通省 関東地方整備局
大宮国道事務所

大宮国道事務所 令和4年度 当初予算一覧

(単位：百万円)

区分	箇所		当初予算	内容	地先名等
改築	国道17号	上尾道路	612	調査設計、川田谷地区用地買収、環境整備	さいたま市西区宮前町～桶川市川田谷
	国道17号	上尾道路（Ⅱ期）	3,600	調査設計、滝馬室地区ほか用地買収、箕田地区改良工、箕田地区橋梁下部工、箕田地区橋梁上部工、宮前地区ほか改良工着手	北本市石戸宿～鴻巣市箕田
	国道17号	本庄道路	3,100	調査設計、新町地区・金久保地区ほか用地買収、新町地区・神保原地区ほか改良工、新町地区・勅使河原地区舗装工、御陣場川橋ほか橋梁下部工	本庄市沼和田～高崎市新町
	国道17号	本庄道路（Ⅱ期）	50	調査設計	深谷市岡～本庄市沼和田
	国道17号	新大宮上尾道路（与野～上尾南）	3,551	調査設計、三橋地区ほか用地買収、宮前地区橋梁下部工、堤崎地区・西新井地区改良工着手	さいたま市中央区円阿弥～上尾市堤崎
	国道17号	与野大宮道路	20	調査設計	さいたま市中央区下落合～同区上落合
	国道17号	新大宮バイパス	198	調査設計、下赤塚高架橋下部工着手	練馬区北町～板橋区赤塚
	国道17号	上武道路	50	調査設計	熊谷市西別府～深谷市高島
	小計		11,181		

大宮国道事務所 令和4年度 当初予算一覧

(単位：百万円)

区分	箇所		当初予算	内容	地先名等
電線 共同溝	国道4号	草加（6）電線共同溝	50	調査設計、本体工事（引込連系管路工事等含む）	草加市北谷1丁目～同市北谷3丁目
	国道4号	草加（7）電線共同溝	50	調査設計、本体工事（引込連系管路工事等含む）	草加市北谷3丁目～同市新善町
	国道4号	草加（5）電線共同溝	95	調査設計、本体工事（引込連系管路工事等含む）	草加市新善町～同市長栄町
	国道4号	越谷（4）電線共同溝	19	調査設計、支障物移設	越谷市七佐町5丁目～同市谷中町2丁目
	国道4号	越谷（2）電線共同溝	94	調査設計、本体工事（引込連系管路工事等含む）	越谷市谷中町2丁目～同市宮本町5丁目
	国道4号	越谷（3）電線共同溝	97	調査設計、本体工事（引込連系管路工事等含む）	越谷市谷中町4丁目～同市神明町2丁目
	国道4号	越谷電線共同溝	200	調査設計、本体工事（引込連系管路工事等含む）	越谷市下間久里～同市千間台東3丁目
	国道4号	春日部（1）電線共同溝	80	調査設計、本体工事（引込連系管路工事等含む）	春日部市粕壁東3丁目～同市八丁目
	国道4号	杉戸（3）電線共同溝	156	調査設計、本体工事（引込連系管路工事等含む）	北葛飾郡杉戸町堤根～同町清地3丁目
	国道16号	狭山（2）電線共同溝	150	調査設計、本体工事（引込連系管路工事等含む）	狭山市入間川4丁目
	国道16号	狭山（3）電線共同溝	184	調査設計、支障物移設補償、本体工事（引込連系管路工事等含む）	狭山市入間川4丁目～同市入間川2丁目
	国道16号	川越（3）電線共同溝	50	調査設計	川越市大塚新町～同市脇田新町
	国道16号	川越（2）電線共同溝	20	調査設計、本体工事（引込連系管路工事等含む）	川越市旭町1丁目～同市新宿5丁目
	国道16号	川越（1）電線共同溝	73	調査設計、本体工事（引込連系管路工事等含む）	川越市大仙波～同市小仙波
	国道16号	見沼電線共同溝	116	調査設計、本体工事（引込連系管路工事等含む）	さいたま市見沼区丸ヶ崎～同市深作

大宮国道事務所 令和4年度 当初予算一覧

(単位：百万円)

区分	箇所		当初予算	内容	地先名等
電線 共同溝	国道17号	戸田（3）電線共同溝	170	調査設計、本体工事（引込連系管路工事等含む）	戸田市川岸3丁目～同市上戸田2丁目
	国道17号	上尾（2）電線共同溝	150	調査設計、本体工事（引込連系管路工事等含む）	上尾市日の出2丁目～同市宮本町
	国道17号	上尾電線共同溝	145	調査設計、本体工事（引込連系管路工事等含む）	上尾市宮本町～同市上町
	国道17号	上尾（3）電線共同溝	1	調査設計	上尾市緑丘1丁目～同市緑丘3丁目
	国道17号	桶川電線共同溝	35	調査設計	桶川市東二丁目～同市寿2丁目
	国道17号	桶川・北本電線共同溝	10	調査設計、支障物移設	桶川市加納～北本市中丸七丁目
	国道17号	鴻巣（2）電線共同溝	2	調査設計、本体工事（引込連系管路工事等含む）	鴻巣市赤見台～同市三ツ木
	国道17号	行田・熊谷電線共同溝	154	調査設計、本体工事（引込連系管路工事等含む）	行田市壺里山町～熊谷市久下3丁目
	国道17号	熊谷（3）電線共同溝	147	調査設計、支障物移設、本体工事（引込連系管路工事等含む）	熊谷市石原2丁目～同市石原
	国道17号	深谷（5）電線共同溝	260	調査設計、本体工事（引込連系管路工事等含む）	深谷市幡羅町一丁目
	国道17号	深谷（4）電線共同溝	5	調査設計、本体工事（引込連系管路工事等含む）	深谷市原郷
	国道17号	本庄電線共同溝	136	調査設計、支障物移設、本体工事（引込連系管路工事等含む）	本庄市本庄4丁目～同市若泉2丁目
	小計		2,649		

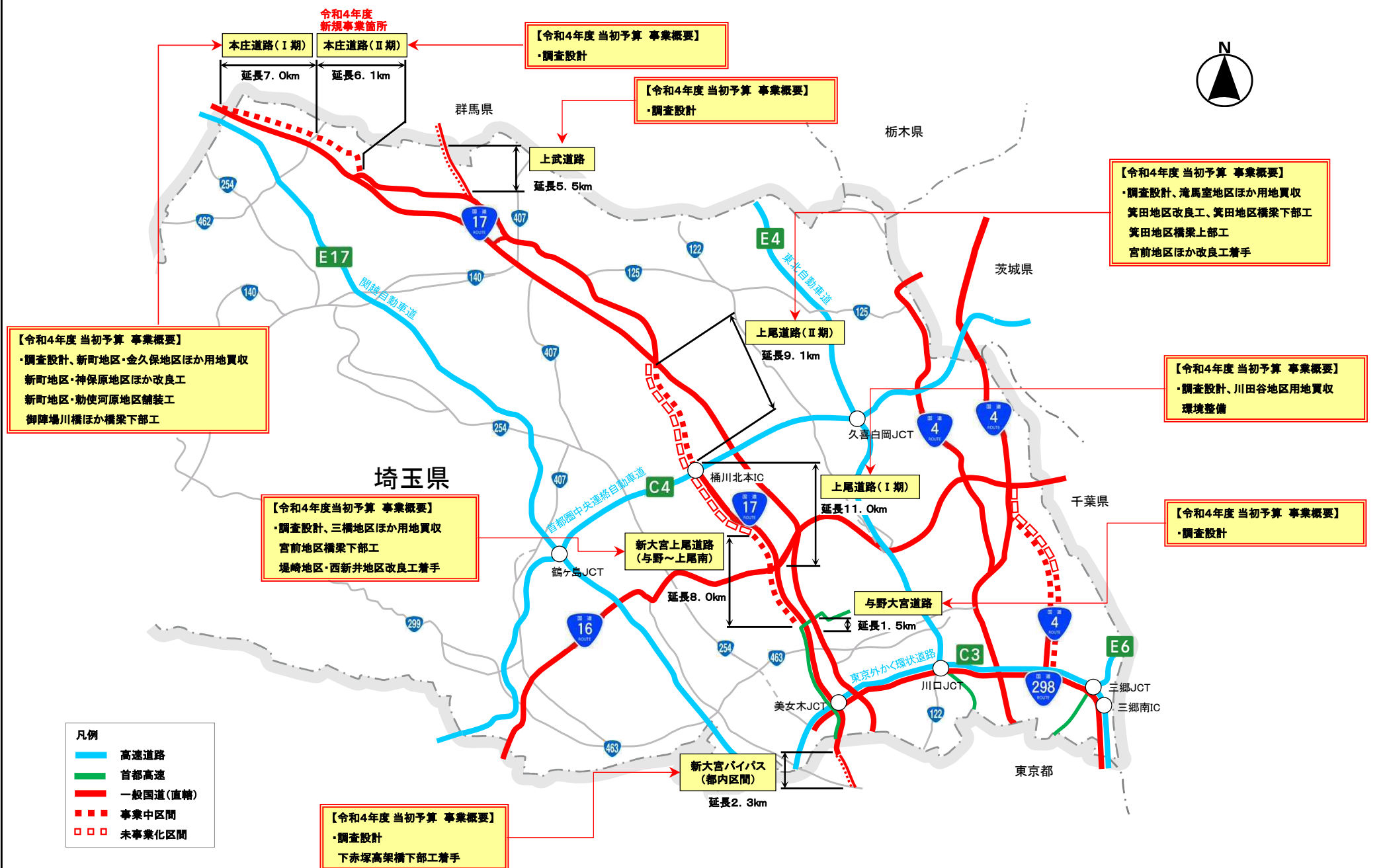
大宮国道事務所 令和4年度 当初予算一覧

(単位：百万円)

区分	箇所		当初予算	内容	地先名等
交通安全 （Ⅰ種）	国道4号	花栗町交差点改良	20	調査設計	草加市花栗町
	国道4号	神明町交差点改良	20	調査設計	越谷市神明町
	国道4号	権現堂桜堤交差点改良	60	調査設計、工事	幸手市内国府間
	国道16号	小谷田交差点改良	70	調査設計、工事	入間市小谷田 2 丁目
	国道16号	大袋新田交差点改良	50	調査設計、工事	川越市大袋新田
	国道16号	増戸（北）交差点改良	186	調査設計、用地買収、工事	春日部市増戸
	国道17号	西堀・町谷地区歩道橋改良	10	調査設計	さいたま市桜区町谷一丁目 他
	国道17号	東大成町交差点改良	50	調査設計、工事	さいたま市北区東大成町 2 丁目
	国道17号	四拾坂下交差点改良	20	調査設計	深谷市岡
	小計		486		
合計			14,316		

※上記のほか、交通安全事業(Ⅱ種)、維持管理費、調査費等がある。

大宮国道事務所の令和4年度当初予算(改築)



■上尾道路は、国道17号の埼玉県上尾市から鴻巣市間の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図るとともに、圏央道（桶川北本IC）に接続し、さいたま新都心へのアクセス強化など幹線道路網の形成を目的とした延長20.1kmのバイパス事業。そのうち、宮前ICから圏央道（桶川北本IC）までの延長11.0kmを事業中。

■ 内容

- 調査設計、川田谷地区用地買収、環境整備を実施。

R 4 当初:612百万円
(R 3 当初:612百万円、補正:一)

■位置図・写真



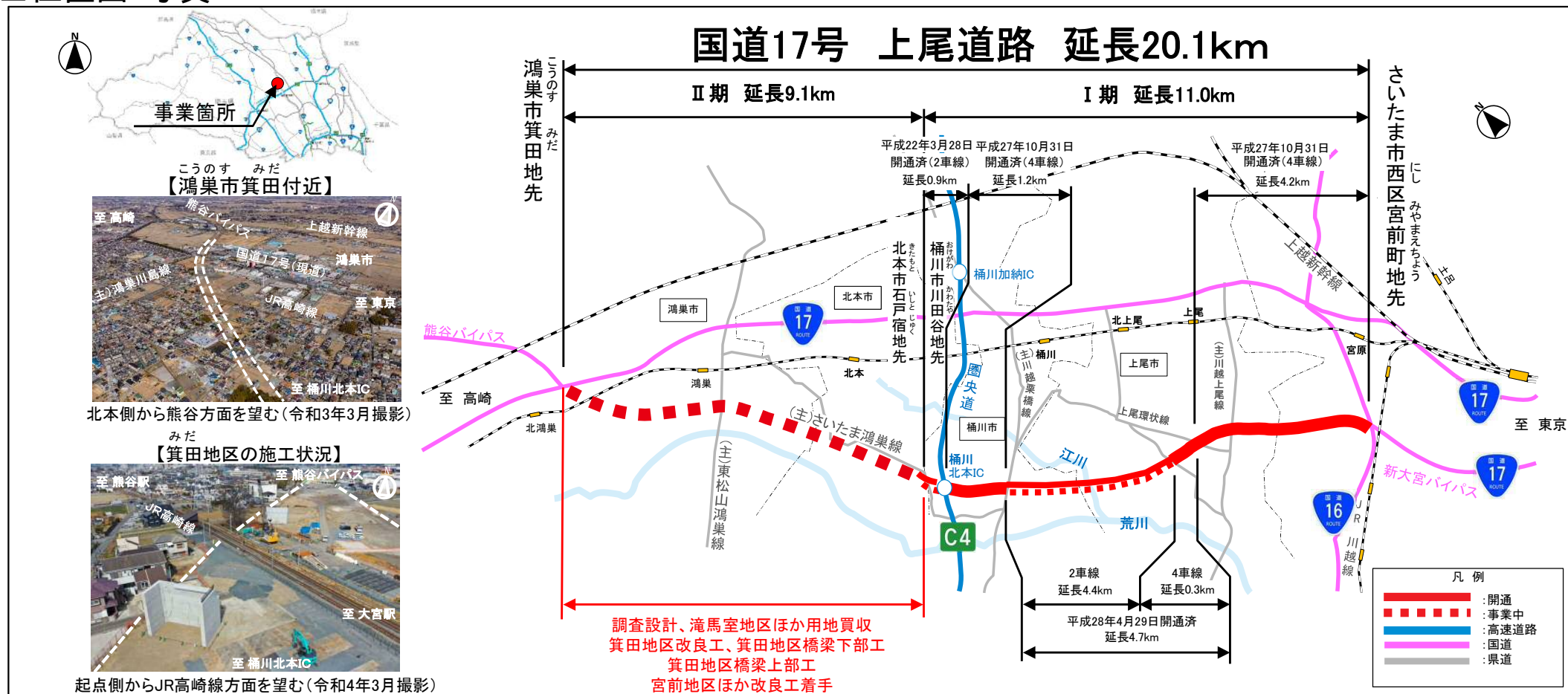
■上尾道路は、国道17号の埼玉県上尾市から鴻巣市間の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図るとともに、圏央道(桶川北本IC)に接続し、さいたま新都心へのアクセス強化など幹線道路網の形成を目的とした延長20.1kmのバイパス事業。そのうち、埼玉県北本市石戸宿から鴻巣市箕田までの延長9.1kmを事業中。

■内容

- 調査設計、滝馬室地区ほか用地買収、箕田地区改良工、箕田地区橋梁下部工、箕田地区橋梁上部工を実施。
また、宮前地区ほかにおいて改良工に着手。

R4当初:3,600百万円
(R3当初:3,569百万円、補正:200百万円)

■位置図・写真



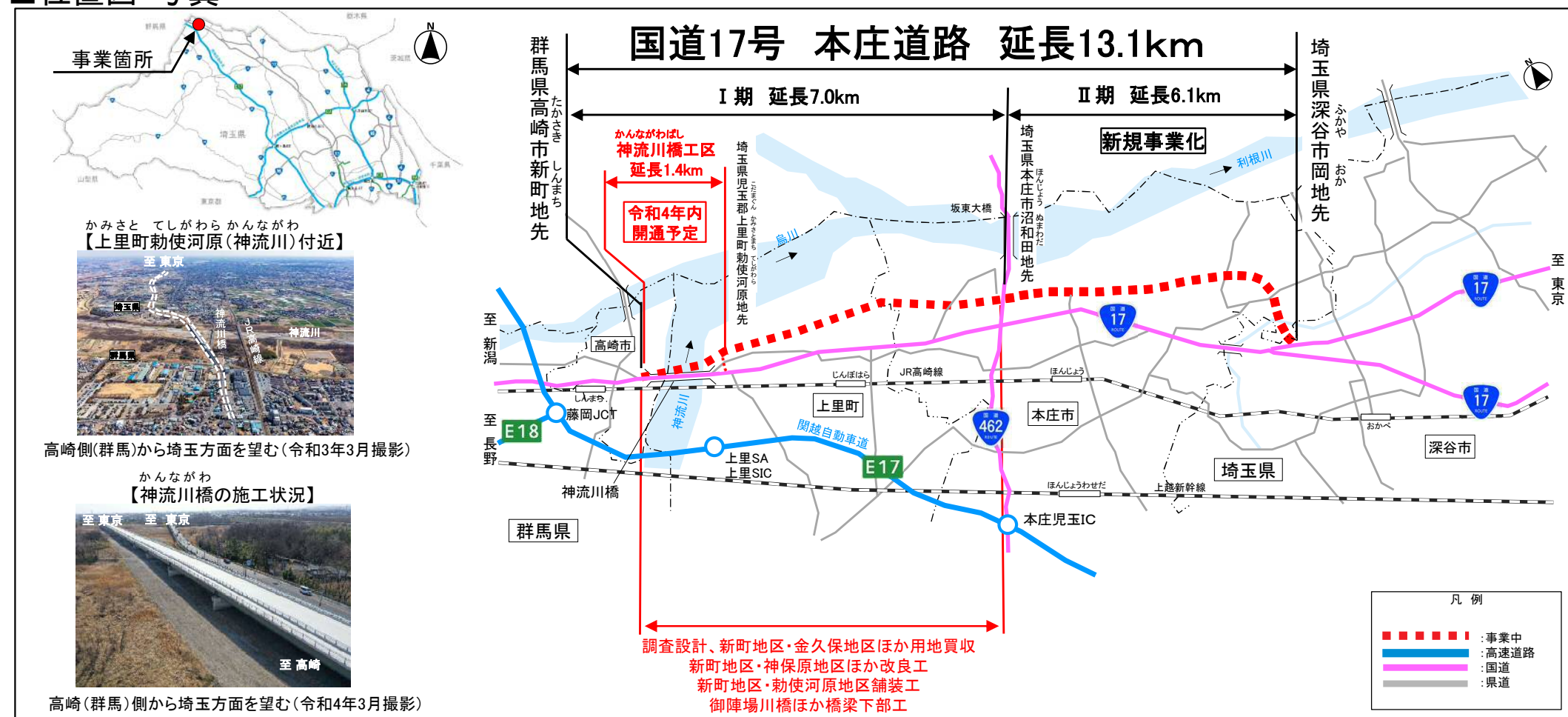
■本庄道路は、交通渋滞の緩和、交通事故の減少、緊急車両の通行及び災害物資の輸送等のネットワーク強化を目的とした埼玉県深谷市岡から群馬県高崎市新町までの延長13.1kmのバイパス事業。そのうち、埼玉県本庄市沼和田から群馬県高崎市新町までの延長7.0kmについて事業中。

■内容

- 調査設計、新町地区・金久保地区ほか用地買収、
新町地区・神保原地区ほか改良工、新町地区・勅使河原地区舗装工、
御陣場川橋ほか橋梁下部工を実施。

R 4 当初:3,100百万円
(R 3 当初:3,300百万円、補正:200百万円)

■位置図・写真



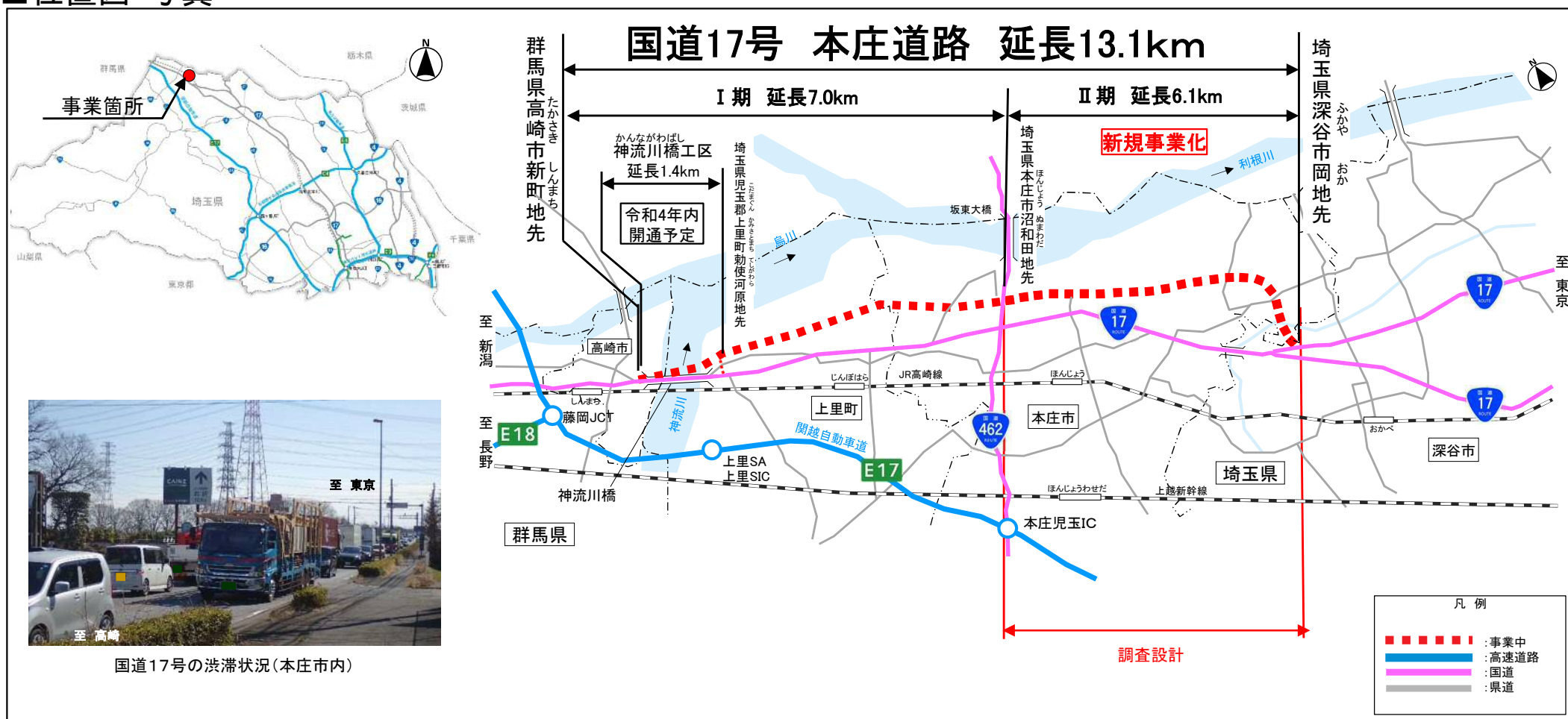
■本庄道路は、交通渋滞の緩和、交通事故の減少、緊急車両の通行及び災害物資の輸送等のネットワーク強化を目的とした埼玉県深谷市岡から群馬県高崎市新町までの延長13.1kmのバイパス事業。そのうち、埼玉県深谷市岡から本庄市沼和田までの延長6.1kmについて事業中。

■内容

○ 調査設計を実施。

R 4 当初:50百万円

■位置図・写真



■新大宮上尾道路は、埼玉県の中核部を南北に縦断し、東京外かく環状道路と首都圏中央連絡自動車道をつなぐ路線であり、国道17号の慢性的な交通渋滞の緩和や埼玉県中央地域の発展などを目的とした、さいたま市中央区円阿弥から鴻巣市箕田までの延長25.1kmの自動車専用道路。そのうち、さいたま市中央区円阿弥から上尾市堤崎までの延長8.0kmの区間において、首都高速道路株式会社と共同で事業中。

■内容

- 調査設計、三橋地区ほか用地買収、宮前地区橋梁下部工を実施。
また、堤崎地区・西新井地区において改良工に着手。

R4当初:3,551百万円
(R3当初:2,890百万円、補正:350百万円)

■位置図・写真



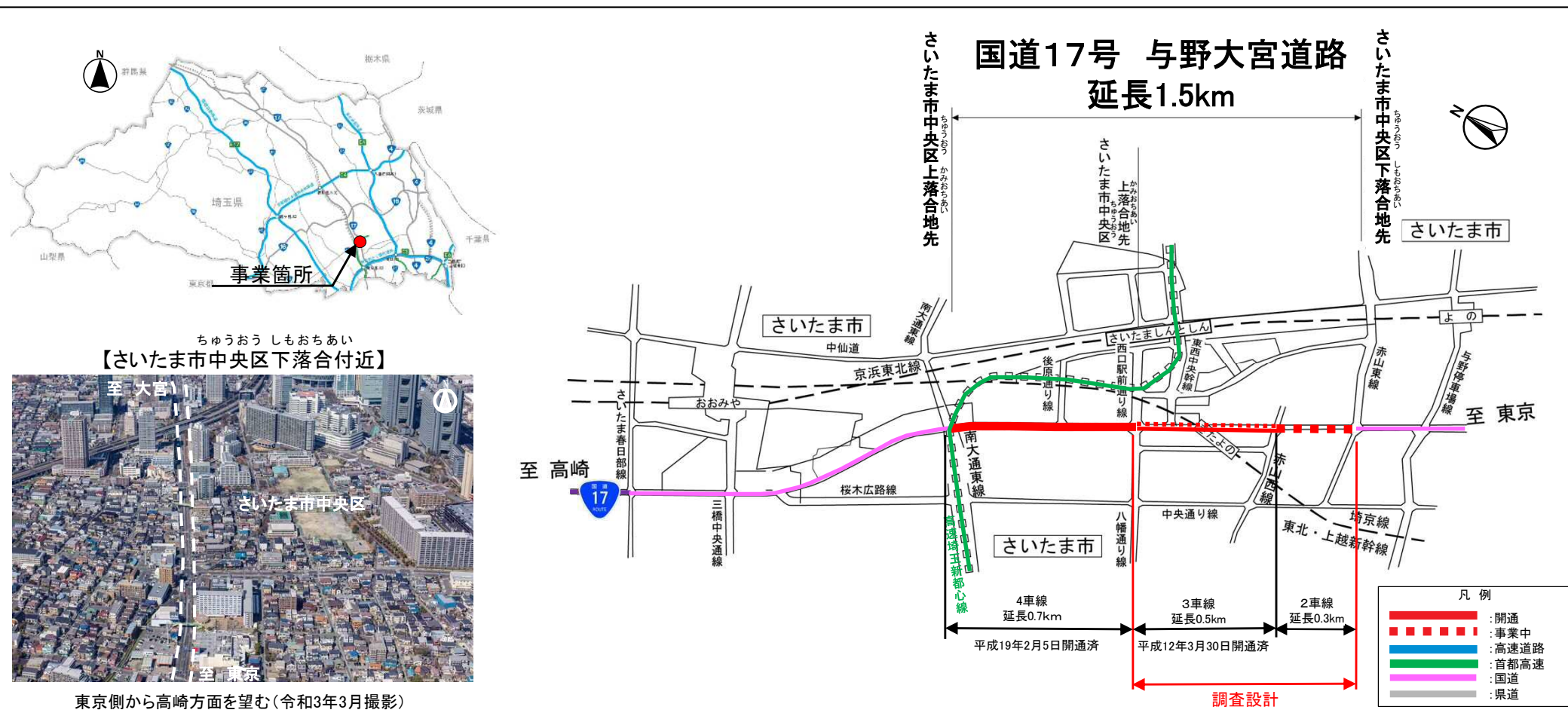
■与野大宮道路は、さいたま新都心関連街路の骨格道路として、さいたま市中央区下落合から同市大宮区桜木町までの延長2.7kmの現道を拡幅する事業。そのうち、さいたま市中央区下落合から同区上落合までの延長1.5kmを事業中。

■内容

○ 調査設計を実施。

R 4 当初:20百万円
(R 3 当初:20百万円、補正:一)

■位置図・写真



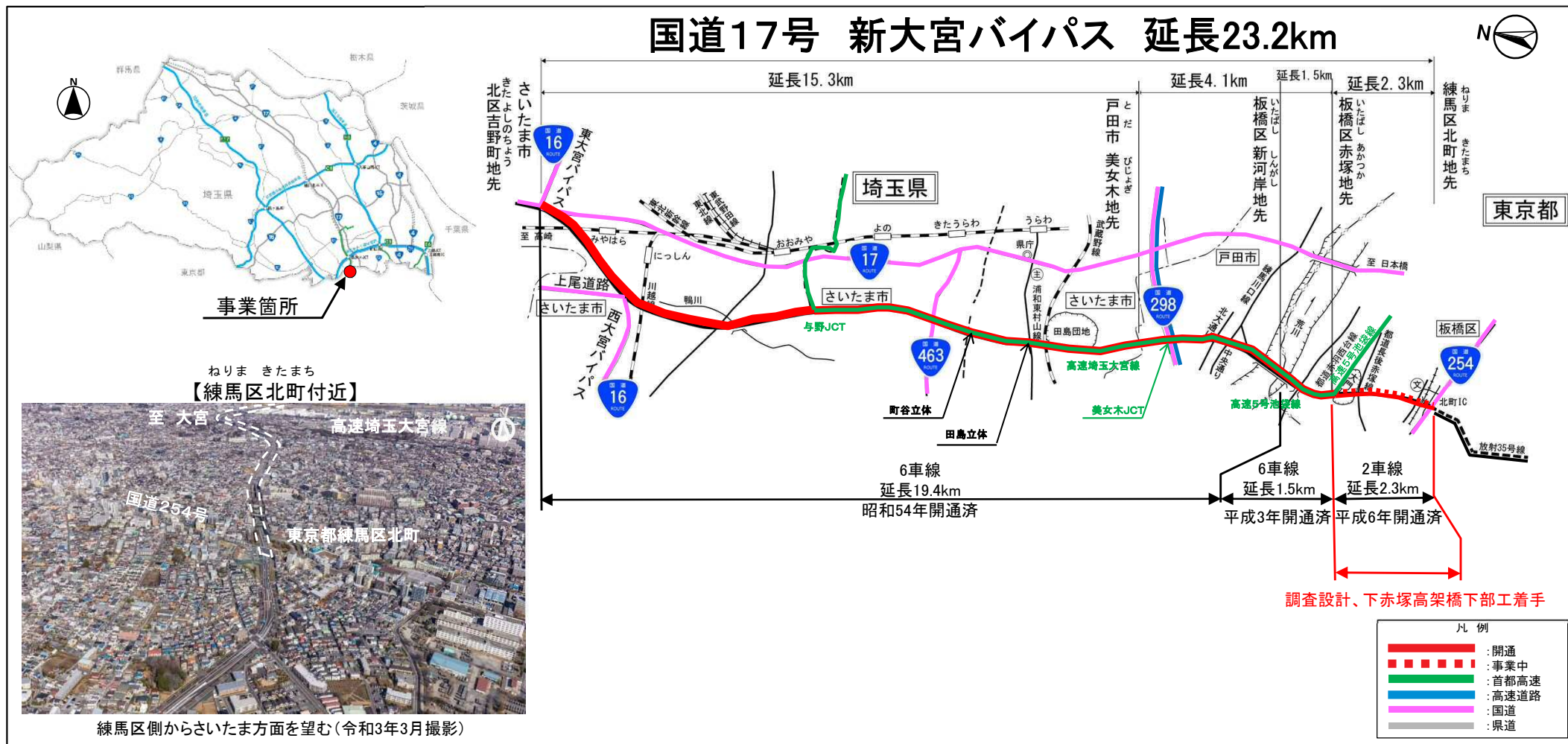
■新大宮バイパスは、国道17号の交通混雑の緩和を目的とした、東京都練馬区北町（北町IC）から埼玉県さいたま市北区吉野町までの延長23.2kmのバイパス事業。そのうち、練馬区北町から板橋区赤塚までの延長2.3kmを事業中。

■ 内容

- 調査設計を実施。また、下赤塚高架橋下部工に着手。

R 4 当初:198百万円
(R 3 当初:198百万円、補正:一)

■位置図・写真



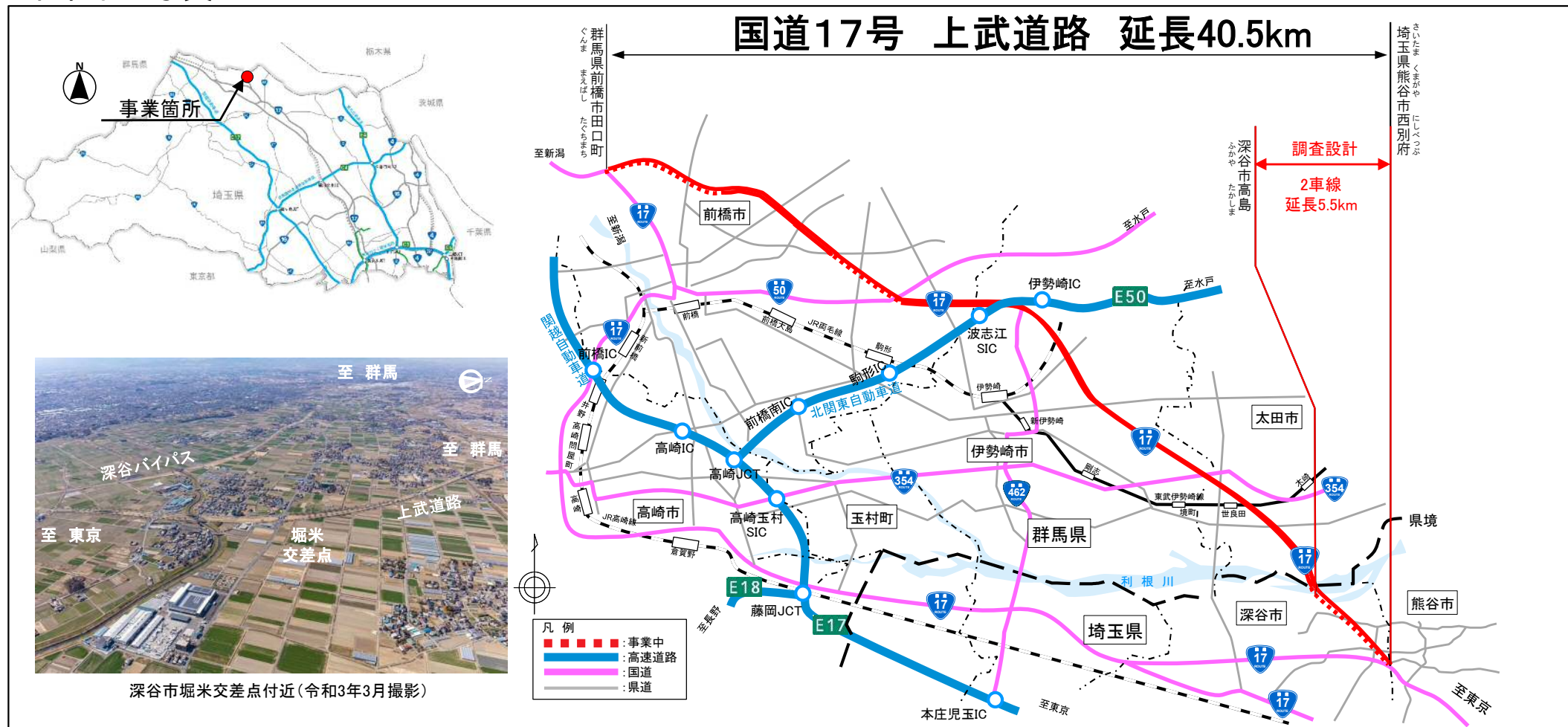
■上武道路は、国道17号の交通混雑の緩和及び地域活性化を目的とした地域高規格道路「熊谷渋川連絡道路」の一部区間となる延長40.5kmのバイパス事業。そのうち、埼玉県熊谷市西別府から埼玉県深谷市高島までの延長5.5kmを事業中。

■内容

○ 調査設計を実施。

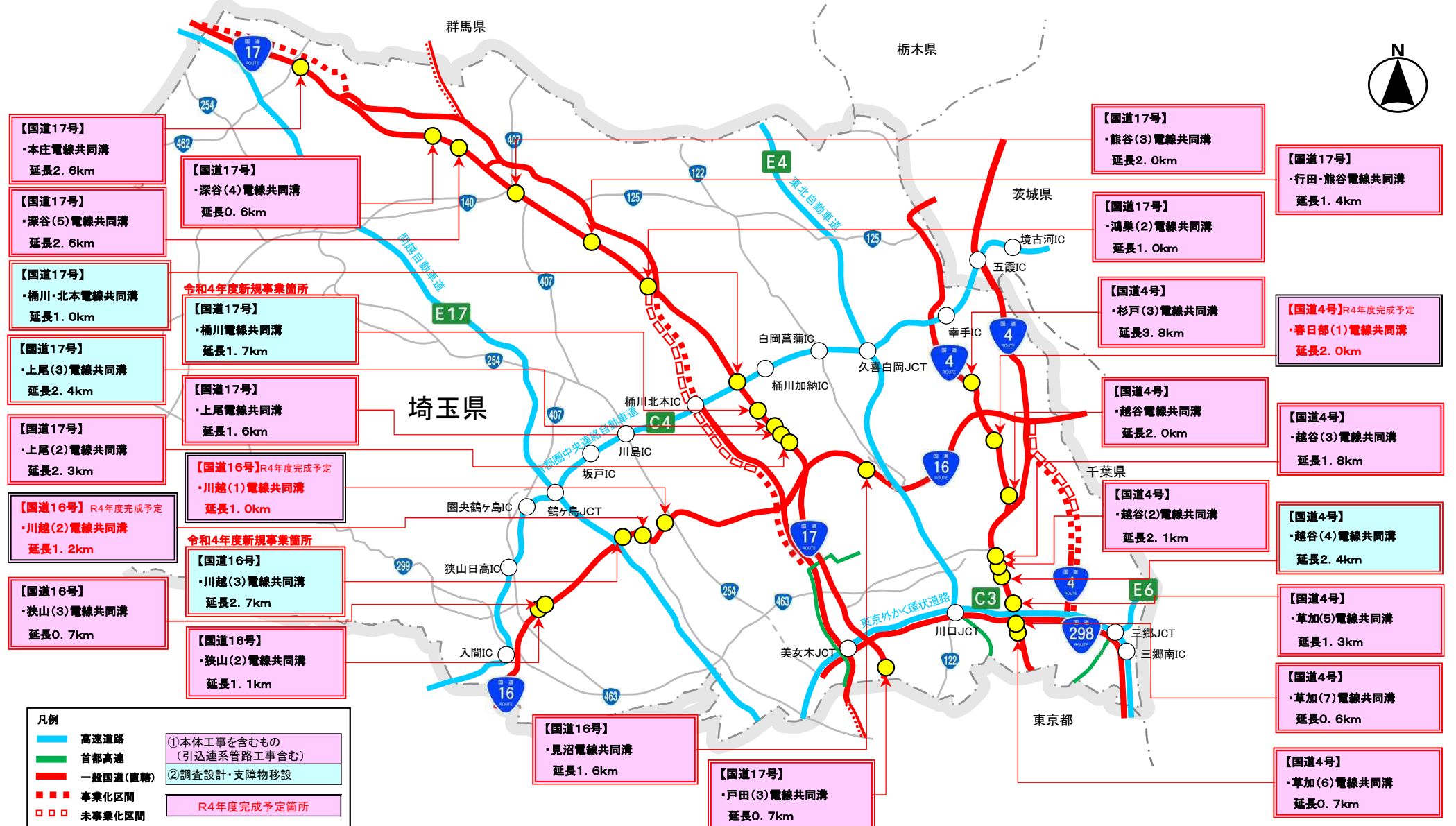
R 4 当初:50百万円
(R 3 当初:220百万円、補正: -)

■位置図・写真



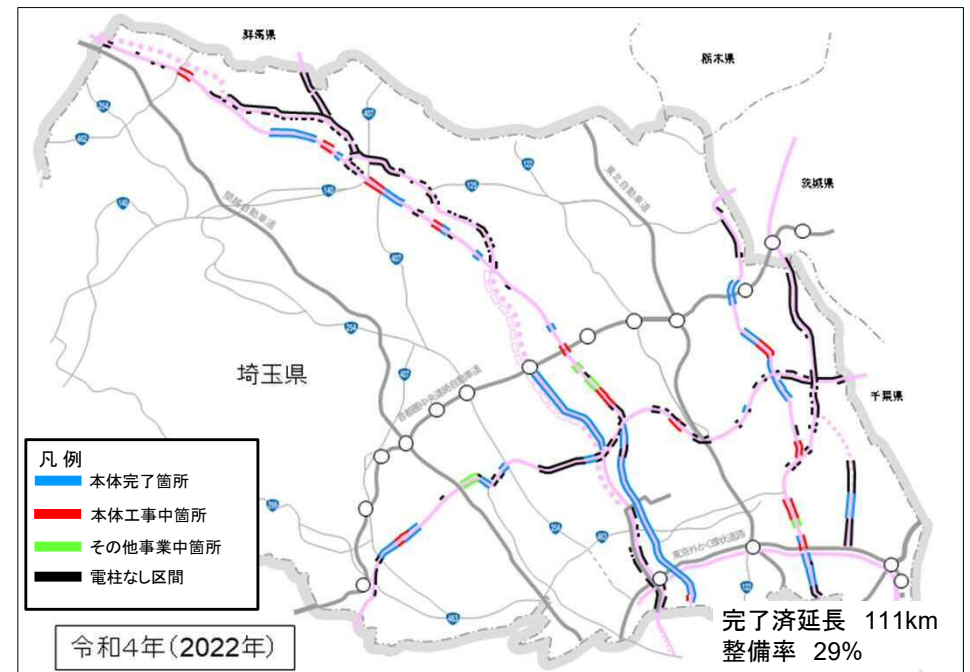
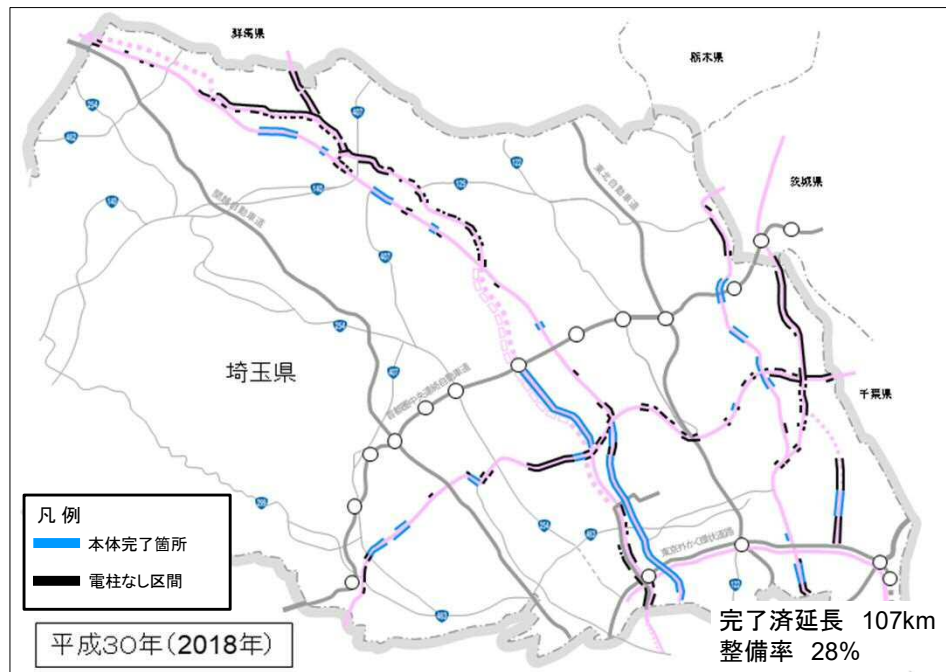
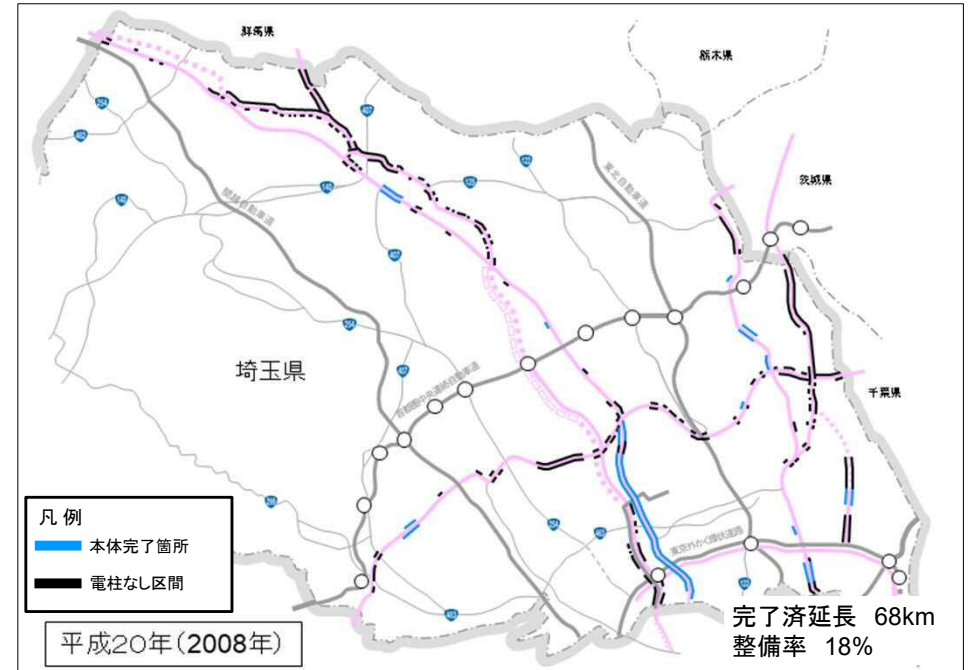
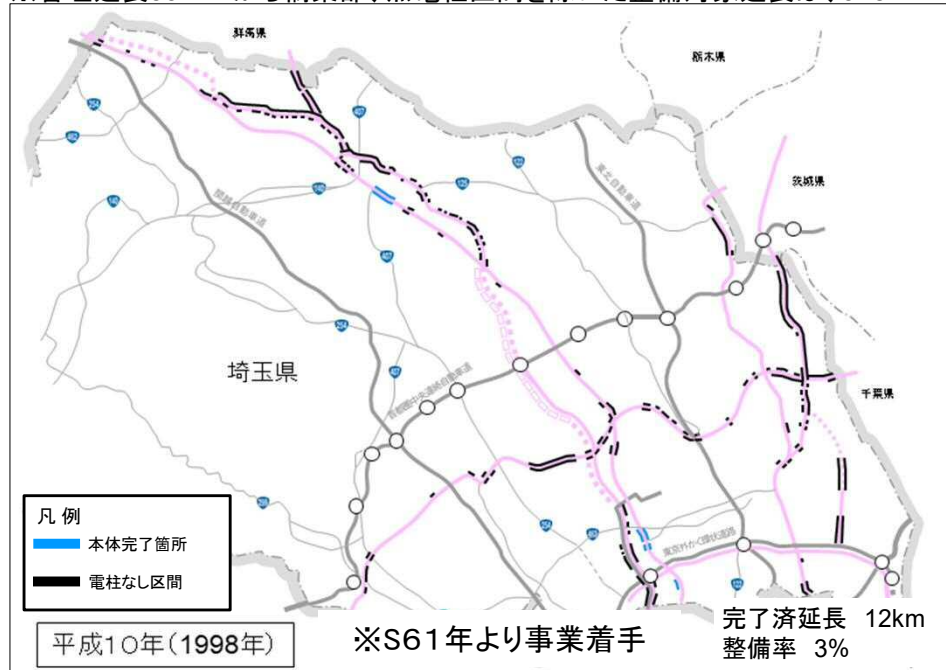
大宮国道事務所の令和4年度 当初予算(電線共同溝)

○ 道路の防災性向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から、無電柱化推進計画に基づき、27箇所において無電柱化を推進



大宮国道の無電柱化整備の変遷

※管理延長532kmから橋梁部、無電柱区間を除いた整備対象延長は、378km



大宮国道事務所の令和4年度当初予算(交通安全)



■当該交差点は、春日部市側の横断歩道が斜めであり、草加駅側の市道から春日部側へ右折して流入する車両にとって自転車や歩行者を視認しづらく、特に春日部側の横断歩道上での右折事故が多く発生している。

本事業は、巻込みを縮小することで、横断歩道の前出し・直交化を行う。これにより、春日部側への右折車から自転車や歩行者への視認性を向上させ、右折事故を抑制する事業である。

■内容

○ 交差点事故対策として、交差点コンパクト化を実施(調査設計を実施)

R4当初:20百万円

■位置図

【広域図】



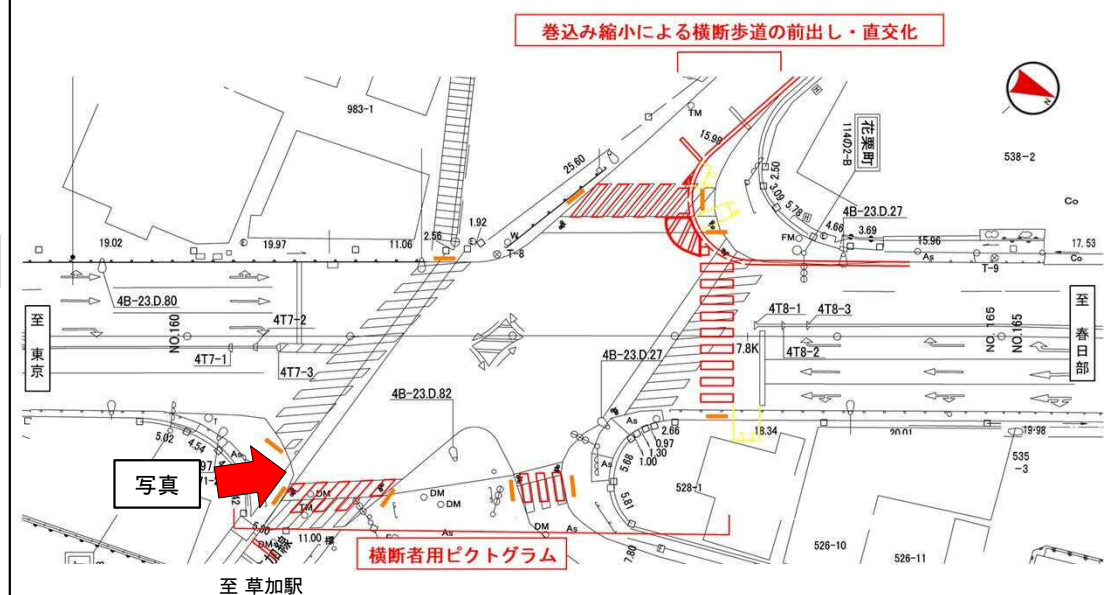
【現地写真】



(令和3年10月撮影)

■対策(案)

【対策イメージ】



■ 当該交差点は、右折滞留長の不足に伴う右折待ち車両の直進車阻害により、直進車の挙動が不安定になることで、交差点流入部での追突事故等が多発している。

本事業は、主道路春日部側の右折車線を延伸することで交通の整流化を図り、併せて停止線前出しによる交差点のコンパクト化を行うことで、安全性の向上を図る事業である。

■ 内容

- 交差点事故対策として、右折車線の延伸及び交差点コンパクト化を実施
(調査設計を実施)

R4当初: 20百万円

■ 位置図

【広域図】



※電子国土基本図(地図情報)を加工して作成

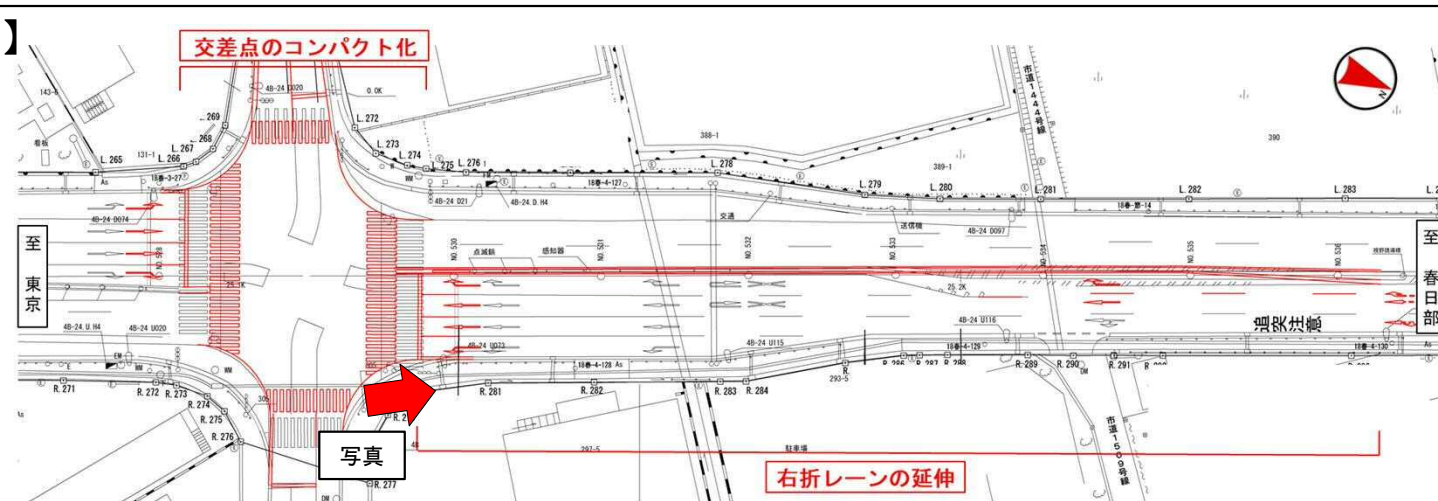
【現地写真】



(令和3年2月撮影)

■ 対策(案)

【対策イメージ】



■当該交差点は、国道4号と県道152号線が交差しており、県道152号線側の交通量が多い交差点である。交差点が大きく、県道152号線側の横断歩道まで距離があるため左折事故の発生や、停止線直前の追突事故も発生している。左折および追突事故対策のため巻き込み改良や横断歩道・停止線の前出しによる交差点のコンパクト化により、安全性の向上を図る事業である。

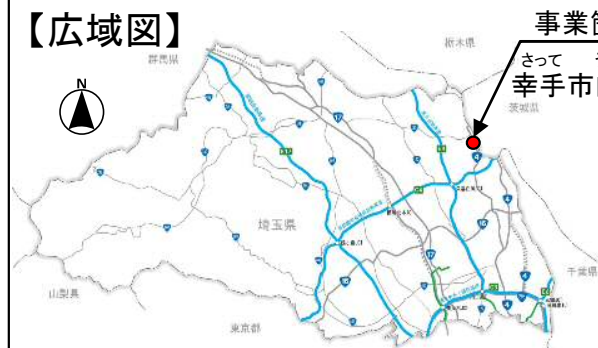
■内容

○ 交差点事故対策として交差点のコンパクト化等を実施(調査設計、工事を実施)

R4当初: 60百万円
 (R3当初: 10百万円)

■位置図

【広域図】



事業箇所

さって うち こう ま
 幸手市内国府間



【現地写真】

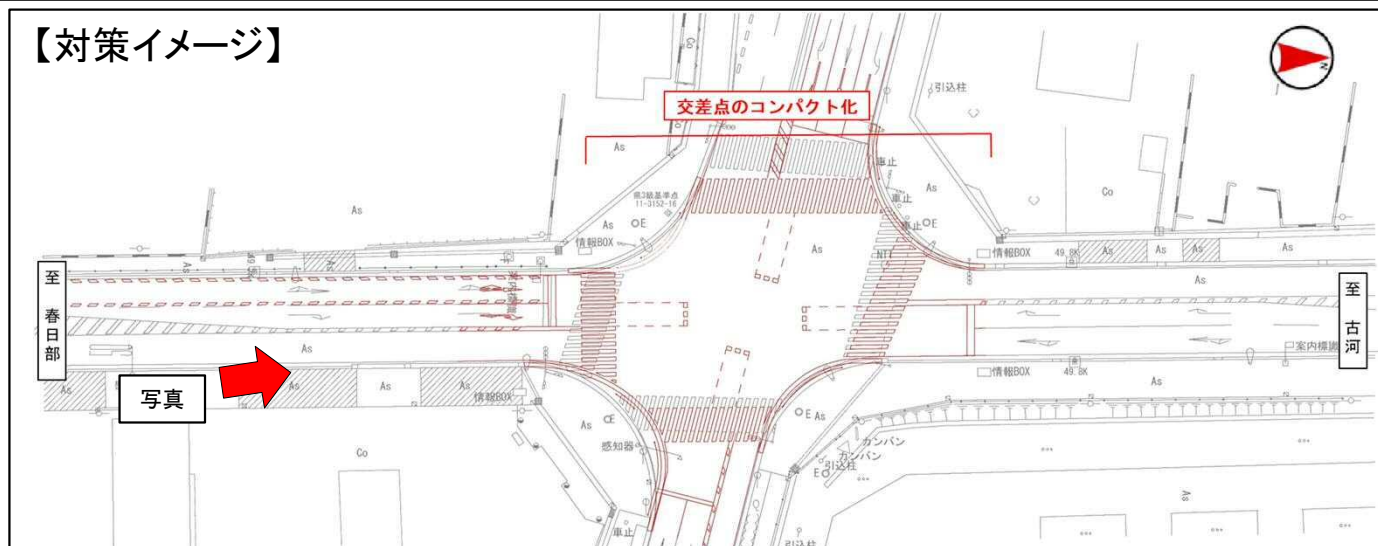


(令和2年12月撮影)

※電子国土基本図(地図情報)を加工して作成

■対策

【対策イメージ】



■当該交差点は、国道16号と国道299号・463号との交差点である。国道16号を北上し、当該交差点を右折して市街地へ向かう車両が多いことから、右折待ち車両による直進阻害に起因した追突事故が発生している。追突事故対策として右折レーンの延伸により、交通流の整流化を図る事業である。

■内容

○ 交差点事故対策として右折レーンの延伸等を実施(調査設計、工事を実施)

R4当初:70百万円
(R3当初:20百万円)

■位置図

【広域図】



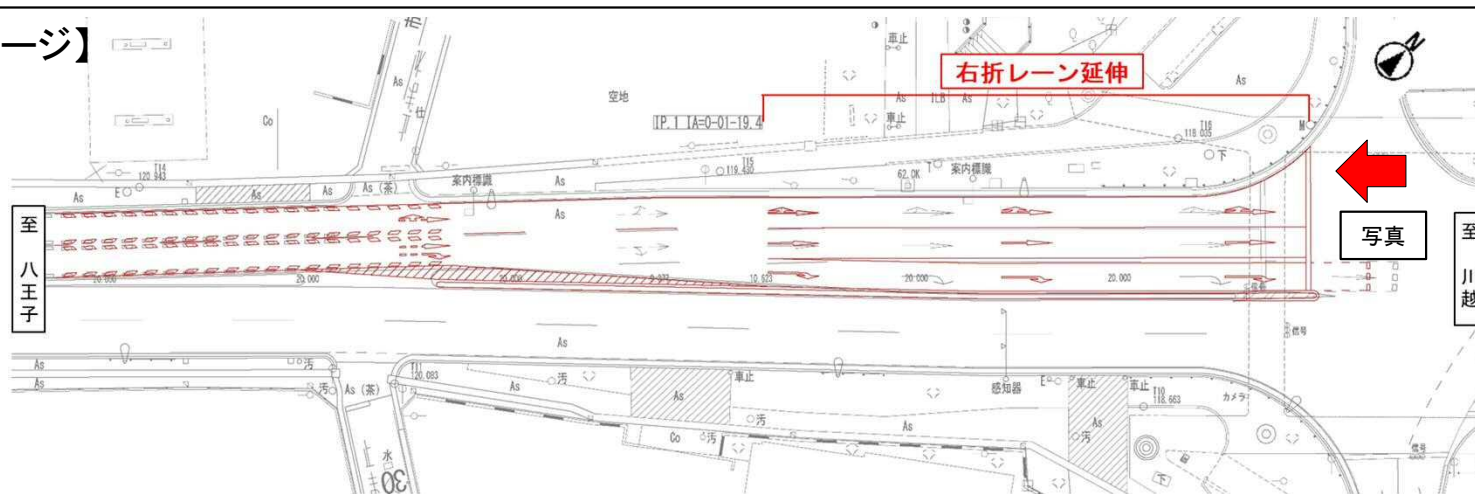
【現地写真】



(令和2年12月撮影)

■対策

【対策イメージ】



■当該交差点は、国道16号と県道114号線との交差点である。当該交差点を右折ポケットが確保されているが、大型車混入率が高い路線のため、右折待ち車両による大型車の直進阻害に起因した急減速や渋滞により追突事故が発生している。追突事故対策として、横断面構成の変更による右折レーンの設置を行い、交通流の整流化を図る事業である。

■内容

○ 交差点事故対策として右折レーンの設置等を実施(調査設計、工事を実施)

R4当初: 50百万円
 (R3当初: 20百万円)

■位置図

【広域図】



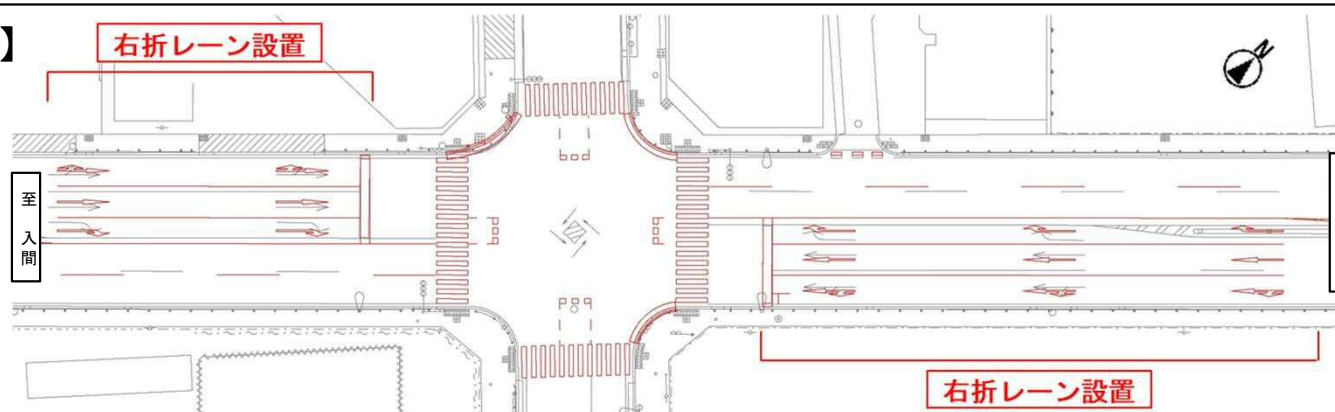
【現地写真】



(令和3年2月撮影)

■対策

【対策イメージ】



■当該交差点は、産業団地の入口で大型車による右折需要が多い交差点であり、右折需要の増大により右折レーンの容量が不足し、直進車線の阻害が発生することによる事故や渋滞が大きく懸念される。このため、適切な右折待ち及び直進空間を確保することにより、安全な右折・直進を可能にするための交差点改良事業である。

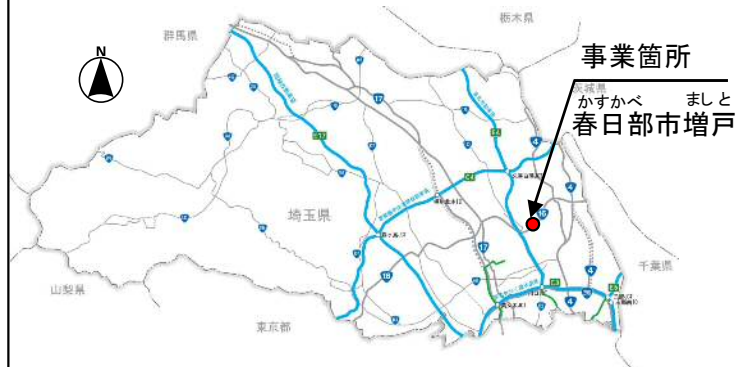
■内容

- 交差点事故対策として右折レーンの延伸等を実施
(調査設計、用地買収、工事を実施)

R4当初: 186百万円
(R3当初: 66百万円)

■位置図

【広域図】



※電子国土基本図（地図情報）を加工して作成

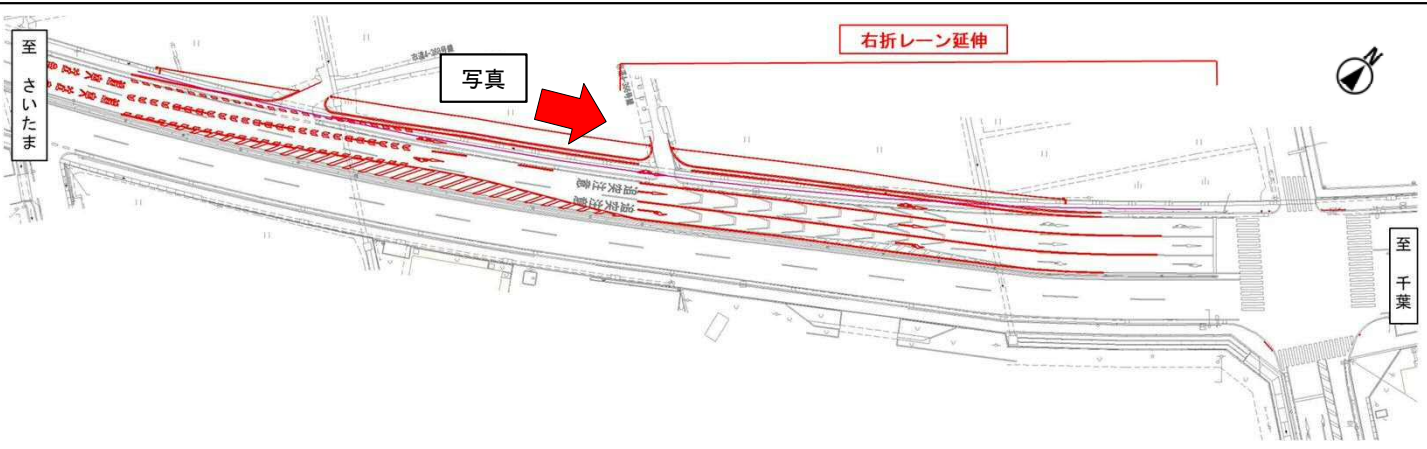
【現地写真】



至さいたま (令和2年2月撮影)

■対策

【対策イメージ】



■町谷北歩道橋は土合中学校の通学路として利用されているものの、交差点巻き込み部に溜まり空間が少なく、通学中の生徒のすぐ横を車両が通行しており非常に危険な状況である。また、併せて通学路の安全確保のために西堀歩道橋の改良及び道場三室線交差部歩道橋の新設を行うものである。

令和3年度に西堀歩道橋の及び町谷北歩道橋の改良が完成した。

■内容

- ^{どうじょうみむろ} 道場三室線交差部歩道橋の新設を実施(調査設計を実施)

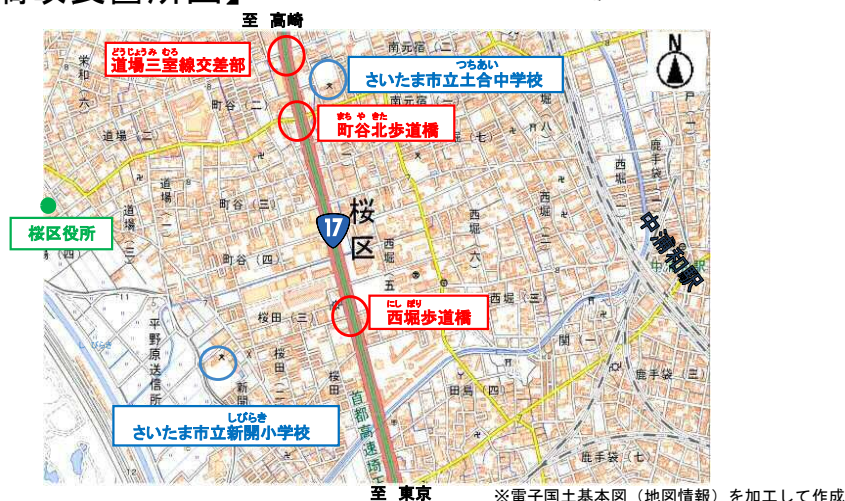
R4当初: 10百万円
(R3当初: 111百万円)

■位置図

【広域図】



【歩道橋改良箇所図】



※電子国土基本図(地図情報)を加工して作成

■写真

【現地写真】

町谷北歩道橋完成後



(令和3年11月撮影)

西堀歩道橋完成後



(令和3年11月撮影)

■当該交差点は、国道17号と県道164号線が鋭角に交わる交差点である。当該交差点は上り線において2車線から1車線に変化し、直進車線は右折が混在しているため交通が錯綜するうえ、クリアランス距離が長いことから、追突や右左折事故が発生している。右左折・追突事故対策として巻込み改良や横断歩道・停止線前出しによる交差点のコンパクト化や右折ポケットの設置を行い、安全性の向上を図る事業である。

■内容

- 交差点事故対策として交差点のコンパクト化や右折ポケットの設置等を実施
(調査設計、工事を実施)

R4当初：50百万円
(R3当初：10百万円)

■位置図

【広域図】



※電子国土基本図（地図情報）を加工して作成

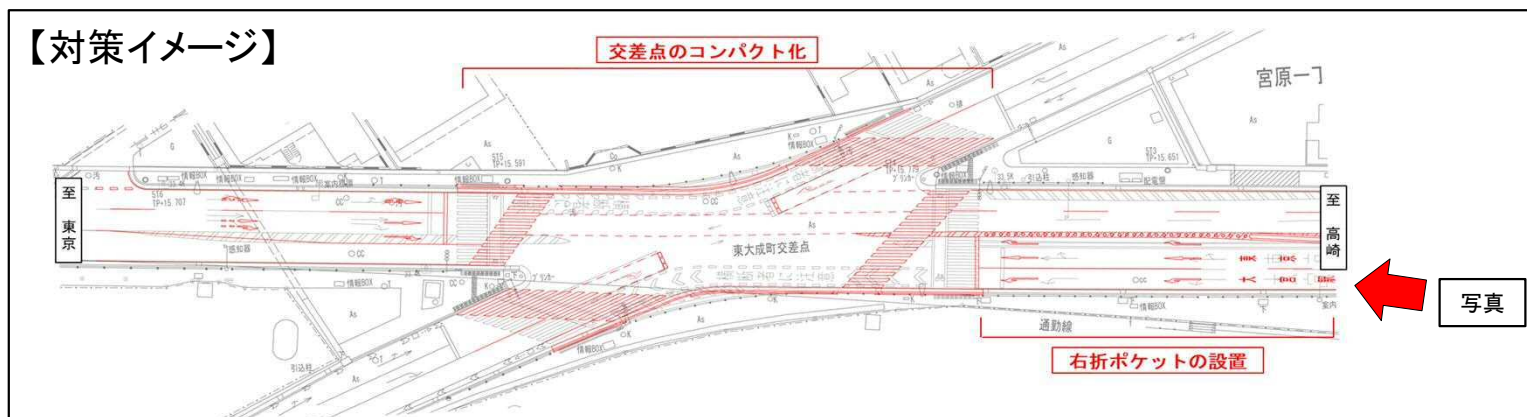
【現地写真】



(令和2年12月撮影)

■対策

【対策イメージ】



■当該交差点は、交差点面積が大きく主道路側のクリアランス距離が長いため、黄色信号の際にドライバーにより停止・通過の判断に差が生じやすく、一部の車両は停止線直前で急停止していることで交差点流入部で追突事故が多発している。

本事業は、高崎側の停止線を前出してクリアランス距離を短縮し追突事故を防ぐとともに、国道17号現道と国道17号バイパスを直交化することで右折速度を低下させ右折事故を防ぐ。

■内容

○ 交差点事故対策として、交差点コンパクト化を実施(調査設計を実施)

R4当初: 20百万円

■位置図

【広域図】



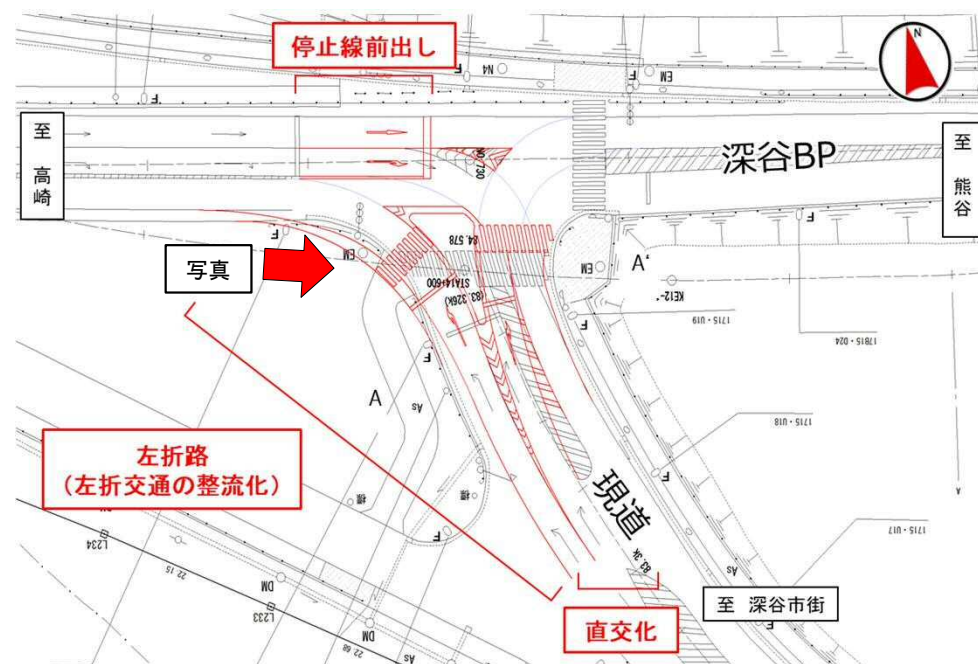
【現地写真】



(令和3年12月撮影)

■対策(案)

【対策イメージ】



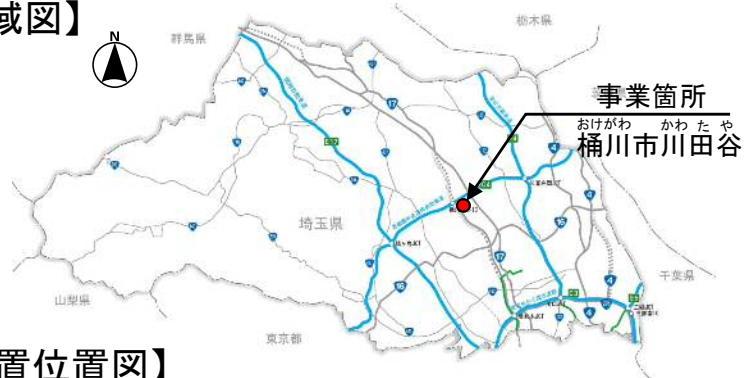
■当該箇所は国道17号上尾道路と圏央道の結節点である圏央道桶川北本ICに隣接して開設される予定の道の駅である。本事業は、道路休憩施設として運転者の安全の向上はもとより、桶川北本IC付近という地の利を生かし、まちづくりの拠点として機能をもたせた新たな「道の駅」を整備し、地域の活性化を図るものである。

■内容

- 桶川市川田谷地先に道の駅を整備(調査設計、工事を実施)

■位置図

【広域図】



【設置位置図】



※電子国土基本図(地図情報)を加工して作成

至 さいたま

■写真

【現地写真】



(平成31年3月撮影)

■ 当該箇所は、国道17号熊谷バイパス沿道に開設される予定の道の駅である。本事業は、道路休憩施設として運転者の安全の向上はもとより、地の利を生かした花と農と健康を楽しむ人の活動拠点として、新たな「道の駅」を整備し地域の活性化を図る事業である。

■ 内容

- 鴻巣市箕田地先に道の駅を整備(調査設計、工事を実施)

■ 位置図

【広域図】



【設置位置図】



※電子国土基本図(地図情報)を加工して作成

■ 写真

【現地写真】



(令和3年3月撮影)

■ 当該箇所は、国道17号熊谷バイパスと国道125号の沿道に開設される予定の道の駅である。本事業は、道路休憩施設として運転者の安全の向上はもとより、食と農をテーマとした産業拠点として、新たな「道の駅」を整備し農業、商業、観光等の市内産業の活性化を図る事業である。

■ 内容

- 熊谷市池上地先に道の駅を整備(調査設計を実施)

■ 位置図

【広域図】



【設置位置図】



※電子国土基本図(地図情報)を加工して作成

■ 写真

【現地写真】

至高崎市



至さいたま市

(令和3年3月撮影)

○大宮国道事務所では、国道4号、16号、17号の3路線、延長約266kmを維持管理しており、巡回、清掃、除草、樹木の剪定、路面の補修など道路の維持管理を実施

○効率的な維持管理によりコストの縮減を図りつつ、道路利用者の安全・安心な交通の確保に努める

作業内容(例)



作業実績(例):R3年度 除草



■ 内容

【橋梁補修・歩道橋補修】

○安全・安心な交通機能確保等を図るため、定期点検の結果、老朽化が判明した橋梁・横断歩道橋において、主桁部分補修、横桁・縦桁部分補修、舗装補修（防水対策）等を実施することで、老朽化対策を推進

■ 配分箇所の対策事例

・主桁の腐食



<主桁部分補修>

・縦桁の腐食



<縦桁部分補修>

・横桁の腐食



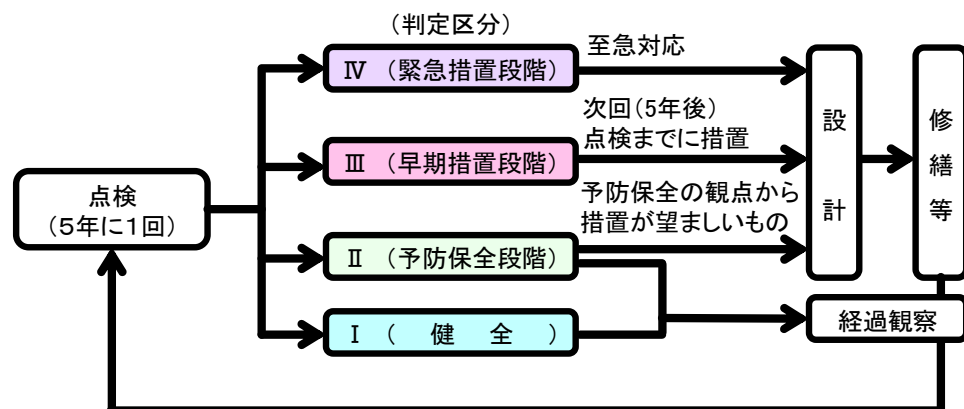
<横桁部分補修>

・床版の腐食



<床版部分補修>

◇点検～補修フロー



■ 橋梁

○Ⅲ・Ⅳ判定橋梁数

修繕が必要な 施設数	修繕着手済み 施設数		修繕未着手 施設数
		うち修繕完了	
39	22 (56%)	7 (18%)	17 (44%)

■ 歩道橋

○Ⅲ・Ⅳ判定歩道橋数

修繕が必要な 施設数	修繕着手済み 施設数		修繕未着手 施設数
		うち修繕完了	
99	42 (42%)	17 (17%)	57 (58%)

※データはR4.3.31現在

※修繕着手：設計に着手

■内容(「国道17号大成跨線橋補修」 点検・診断結果:判定区分Ⅲ(H30点検))

○ 立桁補修、主構トラス補修 等

■位置図

【広域図】



【詳細図】



＜所在地:埼玉県さいたま市北区大成町
～埼玉県さいたま市北区東大成町＞

■補修箇所写真

【橋梁全景(左側が起点)】



＜供用開始年:1936年＞

【要補修損傷箇所】



＜縦桁の腐食＞



＜主構トラスの腐食＞

■内容(「国道17号愛宕町南歩道橋補修」 点検・診断結果:判定区分Ⅲ(H27点検))

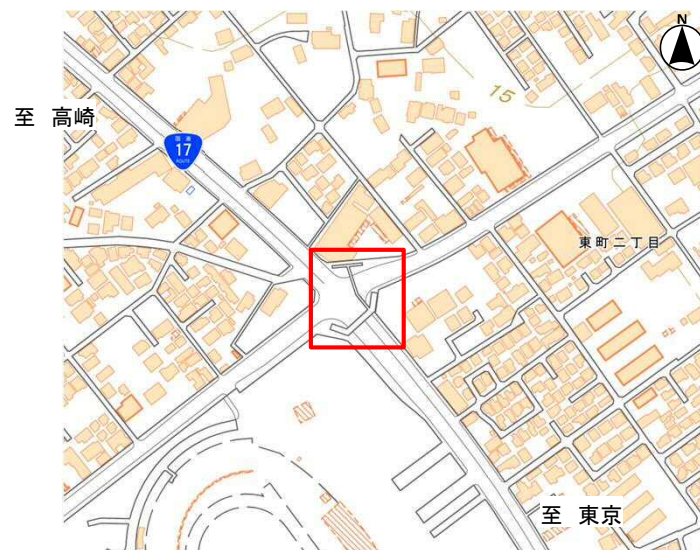
○ 主桁補修、横桁補修、床版補修、通路部の舗装補修(橋面防水)、排水装置補修 等

■位置図

【広域図】



【詳細図】



<所在地:埼玉県上尾市愛宕三丁目>

■補修箇所写真

【橋梁全景(下り線より起点を望む)】



<供用開始年:1967年>

【要補修損傷箇所】



<横桁:腐食>



<床版:腐食>

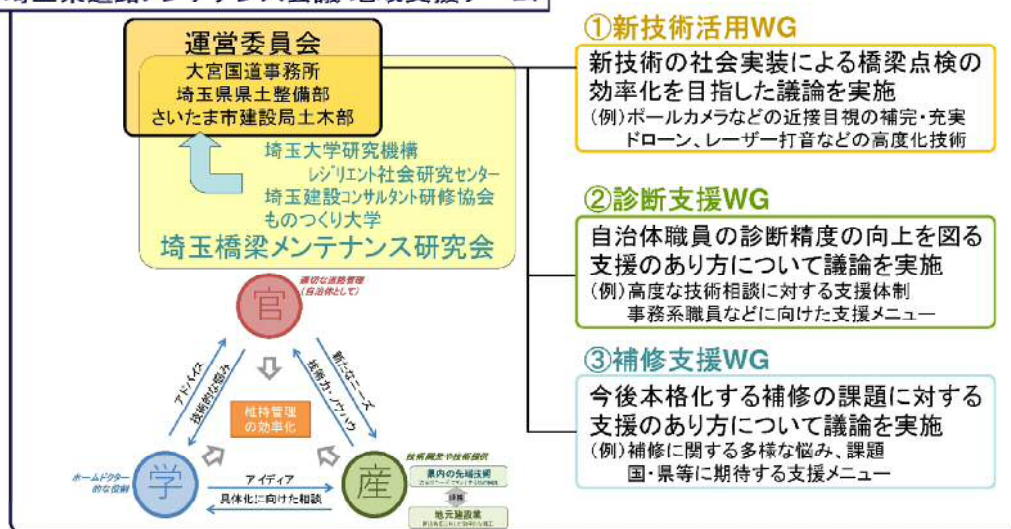
【埼玉県道路メンテナンス会議（平成26年5月28日設置）の主な役割】

1. 自治体向けの技術講習会・研修の開催及び基準類の説明会等の調整
 2. 点検・修繕において、優先順位等の考え方に該当する路線の選定・確認
 3. 点検・措置状況の集約・評価・公表
 4. 点検業務の発注状況支援（地域一括発注等）
 5. 技術的な相談対応
- 等

【令和4年度の取り組み】

- 「地域支援チーム」を活用し、市町村のニーズに応じたきめ細やかな支援
 - ・「産学官」の連携で構築されたサポート体制による効率的・効果的な支援の充実
 - ・課題・問題点に応じ「柔軟な支援」を可能とするワーキンググループ等による検討
 - ・持続可能なメンテナンスサイクルの確立など、維持管理体制の構築に向けた支援も継続

埼玉県道路メンテナンス会議 地域支援チーム

遠隔診断におけるUAV活用の試行検証
(診断支援・新技術活用合同ワーキング)

現地でのUAV操作状況



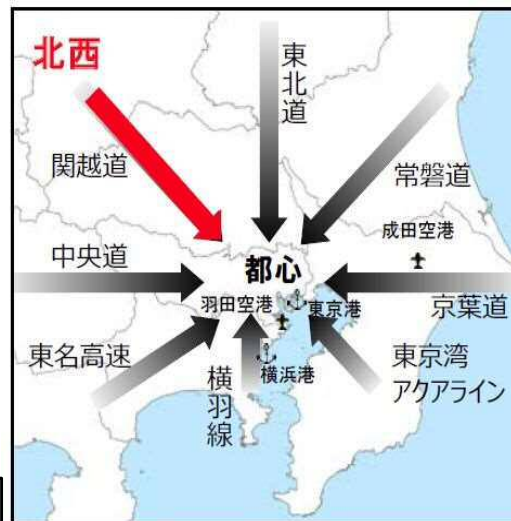
モニタールームの様子

【首都直下地震道路啓開計画「八方向作戦」】

- 首都直下地震道路啓開計画「八方向作戦」において、大宮国道事務所では、北西方向からの道路啓開を担当する責任啓開事務所となっており、体制の拡充や技術の向上に努めている。

＜北西方向の道路啓開候補路線＞

関越道、首都高5号線、国道17号 国道254号、目白通り



＜車両移動の実働訓練＞

【埼玉県冬期道路交通確保対策】

- 「大雪時の道路交通確保対策中間とりまとめ（平成30年5月 国土交通省）」の提言に則り、大宮国道事務所では「埼玉県冬期道路交通確保連絡調整会議」を設置し、関係機関との連携を行うとともに、雪道に関する道路利用者への注意喚起を目的とした啓発活動等を行っている。



＜注意喚起啓発活動＞

【無電柱化の推進】

大規模災害が起きた際に、電柱等の倒壊による道路の寸断を防止するために、無電柱化を推進する。

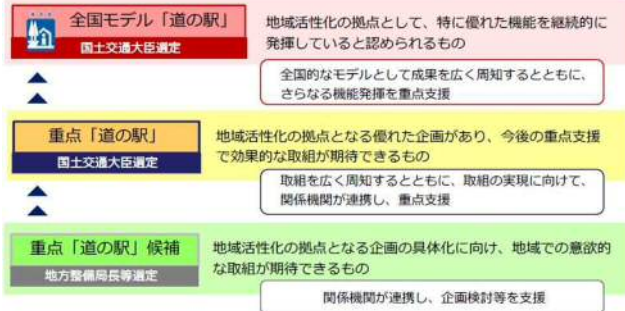
道の駅

「道の駅」は、地元の名物や観光資源を活かし、多くの人々を迎え、地域の雇用創出や経済の活性化、住民サービスの向上に貢献。

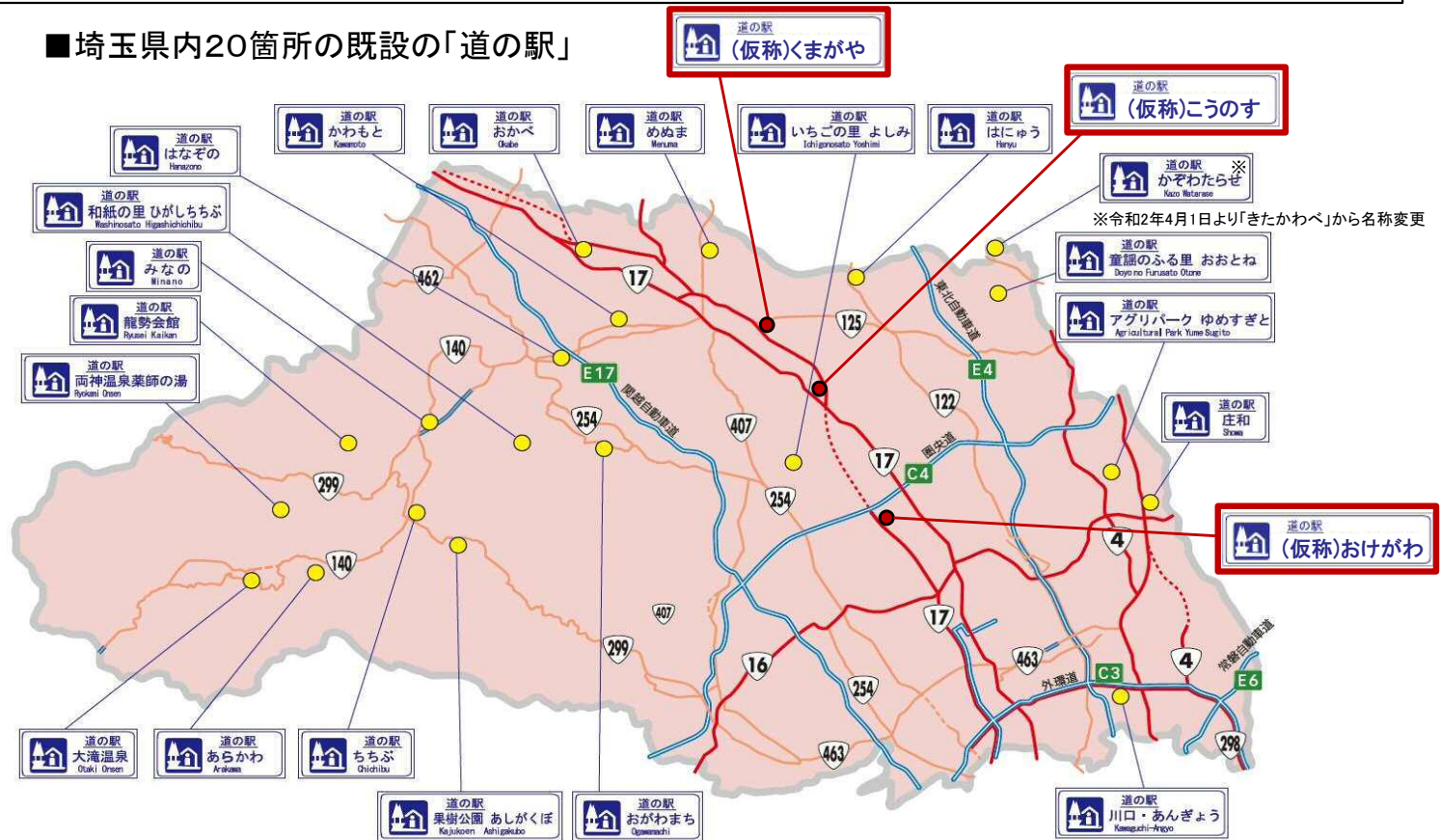
国土交通省では、重点「道の駅」制度を創設し、優れた「道の駅」を関係機関と連携して重点支援する取組を実施しており、当事務所管内では、地域での意欲的な取組が期待できる重点「道の駅」候補に「いちごの里よしみ」、「(仮称)おけがわ」、「(仮称)ぎょうだ」が選定され、また全国各地の「道の駅」の模範となって質的向上に寄与する特定テーマ型モデル「道の駅」に「両神温泉薬師の湯」が選定。

■重点「道の駅」

＜重点「道の駅」に想定される機能＞



■埼玉県内20箇所の既設の「道の駅」



■特定テーマ型モデル「道の駅」

H28年度 住民サービス部門
国土交通大臣選定

中山間地域及び農村地域等において、高齢者社会に対応した地域福祉向上のための取組、地域課題に対応した住民生活支援のための取組、小さな拠点形成を目指した取組など、公共の福祉を増進することを目的とした地域住民へのサービス向上に資する取組を、現在実施し成果をあげているもの

※「(仮称) おけがわ」、「(仮称) こうのす」、「(仮称) くまがや」は、事業中箇所

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を推進

【主な調査箇所】

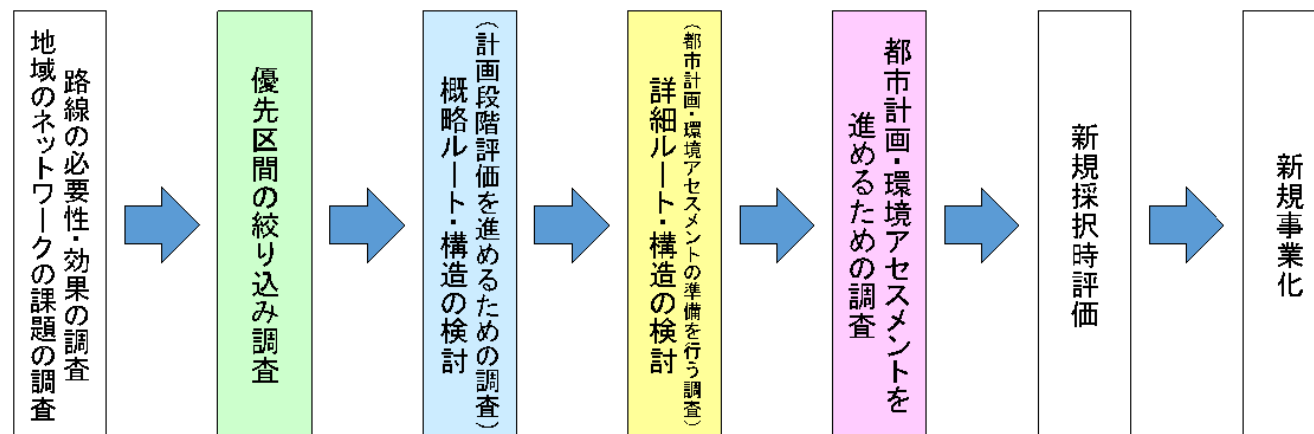
○概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）を実施

埼玉県 かくとしこういきかんせん 核都市広域幹線道路（埼玉新都心線～東北道付近）

○埼玉県圏央道以南地域については、規格の高い道路ネットワークの計画の具体化に向け東西軸の検討を進めるとともに、東部地域は南北軸（国道16号以北）について検討を進める。

○その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進める。また、埼玉県のボトルネック箇所については、道路ネットワークの機能強化や集中的対策に向けた調査を推進。

<道路調査の流れ>



交通拠点の事業化に向けて、整備方針の検討等を推進

【主な調査箇所】

○交通拠点の機能強化に関する整備方針の検討を実施(埼玉県さいたま市 大宮駅周辺)。

○地域における道路交通に関する課題を把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、道路ネットワークにおける拠点の機能強化の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施。

<交通拠点の調査の流れ>

